

出願先の追加に関する届書記入要領

2012年4月
(2014年4月改定)
産学官研究推進センター

出願先の追加に関する届書は、第一の出願（日本国内の場合が一般的です）以外の国での特許取得を希望する際に提出する書式となります。届書には、届出の発明について**発明者の希望および提出時点で知る情報を正確に記入**いただけますようお願いいたします。弊センターでは届出の情報をもとに、発明者とのヒアリング、関係者間の交渉を行います。それらの結果を受け資料を作成し、発明審査委員会での審議を経て出願するか否かを決定いたします。

1. 発明の名称

発明内容を表す名称を出願先の言語にて記入してください。仮題の場合は（仮）と末尾につけてください。

2. 発明等に関する事項

【出願に関する予算】

原則的に大学が承継した発明は学内予算にて費用負担の上、出願いたします。共同出願先等の予算により費用を支払うことを予定する場合は、「共同出願先」を選択してください。また、JSTの外国出願支援等の補助金を利用する場合は、「補助金」を選択して下さい。

【公的研究費との関係】2014年度追加

本発明を公的研究費の成果として報告するか否かを選択してください。成果として報告する場合は、その公的研究費の配布機関および事業の名称を記載してください。

とくに、政府機関からの「委託事業」の場合は、手続きに不備があると権利を保有することができません。成果として報告する場合は、必ず記載ください。

【発明等の実用化方法】

当該出願に関して期待することが出来る社会への貢献および大学への貢献の方法を選択してください。とくにライセンス・技術移転、共同研究の誘致等の場合は、具体的な企業名、製品分野や候補を記入してください。

【実用化に向けた計画・活動状況】

上記実用化に向けて、第一の出願から現時点までに行った実用化に向けた活動および今後予定している計画、スケジュール等を示してください。

外国出願は、一般に1カ国100万円以上の費用がかかることから、実用化方法およびこれまでの活動、今後の活動を踏まえ、費用対効果を精査いたします。本届書の内容が重要な審議材料となりますので、具体的に記載いただけますようお願いいたします。

3．出願関連情報

【第一の出願】

出願の基礎となる第一の出願の「出願日」「出願番号」「名称」を記載してください。また、「学内管理番号」が分かる場合はそれも記載してください。

【出願先】

希望する出願先を選択して下さい。直接出願の場合は、出願先の国名、PCT 出願の場合は、指定国を示してください。

4．発明者と共同出願人

発明者全員の氏名、住所の日英表記を記入してください。大学に権利を譲渡した教職員等の住所は、例示されている本学所在地となります。共願先の名称、所在地は、共願先より指定された表記で記入してください。また、当該出願に関する持分割合についても記入してください。

第一の出願と変更があった場合は、それを反映して記入してください。

5．連絡先

本発明の技術調査や手続における連絡先の氏名、電話番号、メールアドレス等を記入して下さい。学内発明者については少なくとも2名、学外出願人については少なくとも各出願人につき1名の記載をお願いします。

以 上